

### 奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	肝細胞癌におけるサルコペニアと腫瘍浸潤リンパ球についての検討			
② 研究期間	学長許可日（2024年3月14日）から2026年12月31日			
③ 対象患者	対象期間中に肝細胞癌に対して手術を施行された患者さん			
④ 対象期間	2007年1月1日～2021年12月31日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学 消化器・総合外科			
⑥ 研究責任者	氏名	土井 駿介	所属	奈良県立医科大学 消化器・総合外科
⑦ 使用する試料・情報等	<p>①臨床所見（年齢、性別、身長、体重、既往歴、腫瘍径、腫瘍個数、術式、無再発生存期間、全生存期間）</p> <p>②血液検査所見（肝機能検査：血清ビリルビン値、アルブミン値、AST（アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ）値、ALT（アラニンアミノトランスフェラーゼ）値、PT（プロトロンビン）%値、ICG（インドシアニングリン）15分値、腫瘍マーカー：AFP、PIVKA-II）</p> <p>また、研究対象者の試料を用いて下記調査を行う。</p> <p>切除標本のパラフィンブロックよりCD4・CD8・CD45ROなど腫瘍浸潤リンパ球について免疫染色を行う。</p>			
⑧ 研究の概要	サルコペニアは全身の筋肉量と筋力が減少し身体機能が低下した状態のことであり、サルコペニアは肝細胞癌術後の予後因子と報告されています。しかし、サルコペニアと腫瘍浸潤リンパ球との関連についての報告はまだ少ないのが現状です。本研究ではサルコペニアと腫瘍浸潤リンパ球、予後との関連を明らかにすることを目的とします。			
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024年 3月 14日		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。			

⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学 消化器・総合外科 担当者：土井 駿介		
	電話	0744-22-3051 (内線 66384)	FAX   0744-24-6866
	Mail	raoyue8@naramed-u. ac. jp	